

□議員名：矢田松夫

1 市長の施政方針について

論点	コロナ感染症対策の最前線で働く福祉部門職員へ、賃金や定員配置を含めた労働条件について、どのように施政方針に反映されているか。働いた分まで支払っているか。
回答	主に保育士について、保育所の機能維持を図るために処遇改善をしている。時間外労働については従来どおりの予算配置としている。

論点	中期基本計画に基づく財政計画をなぜ出さないのか。
回答	中期基本計画に沿った財政計画の見直しを、急ピッチで進めている。遅れているが、3月末までに策定、公表する。

論点	これまでの公民館と、地域交流センターは看板を置き換えただけであり、財源的にも差異はないが。
回答	新たな事業予算は、現状の予算とは大差がない。事業内容についてはこれからしっかりと考える。

論点	地域交流センター長の任命については、市職員や教師を退職した方の再雇用をされるのか。
回答	現在の体制を維持するが、適切な配置は調整中である。詳しい内容は、人事管理であるので回答ができない。

論点	子育て世代に、出産祝いや入学祝いにそれぞれ5万円を支給する一過性の政策よりは、将来につながる基盤整備を行うことが先ではないか。
回答	この給付事業は、住みよいまちを子育て世代に実感してもらい、定住につながることを期待している。

論点	祝金条例を作らないのか。また、単年度だけの施策なのか。
回答	補助金規則に基づき要綱で定めていくので条例はいらない。時限的な施策とは考えていない。事業効果が認められるということであれ

	ば継続していく。
--	----------

論点	お泊り企画に3年間で1800万円をプロ業者へ委託されるが、関連する定住奨励事業（都市計画課）、空き家バンク（生活安全課）、地域おこし協力隊（山陽総合事務所）が横断的に総括しているのか。
回答	質問された事業をベースに今回予算化した。次年度については、幅広く横断的にこの事業に対しての対応を考えていく。